

# 平成30年度いばらきっ子郷土検定 解答と解説

## 古河市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	利根川の別称です。坂東太郎とは、「坂東(関東)にある長男格(日本で一番大きい)川」の意味があります。	4
2	明治初期に高橋菊次郎が古河で最初の製糸業を創業しました。それにより製糸産業が発達し商工業都市として栄えました。人口も急増し、当時の古河町は県内で二番目の人口となったこともあります。	1
3	鷹見久太郎は、古河藩家老だった蘭学者・鷹見泉石の曾孫で、1875年(明治8年)に古河町で生まれました。1922年(大正11年)、鷹見久太郎主宰の東京社で創刊された児童向けの絵雑誌『コドモノクニ』とその後継誌『コドモノテンチ』の関連資料を紹介しました。傷みにくい厚手のマット紙を用いた紙面には、見開き画面全体に美しい絵と童謡が印刷され、さらに童謡には曲・振付等も付されていた。従来の児童向けの雑誌と一線を画した豪華で洒落た雑誌とされています。	3
4	国内で唯一、国際公認規格の卓球ボールを製造する卓球用品の総合用具メーカー「日本卓球」(東京)。「ニツタク」の愛称で知られる同社の古河工場は月産100万個のボールをはじめ、ラバー、ラケットなどを製造しています。	4
5	山室光史選手は小柄だが筋力に定評があり、力技と跳躍技を得意としています。最大の得意種目はつり輪で、日体大の卒業論文はつり輪の「後方伸身2回宙返り2回ひねり下り」の研究でした。	2
6	小柴 昌俊(こしば まさとし)(1926年(大正15年)生まれ)は、日本の物理学者です。1987年(昭和62年)、自らが設計を指導・監督したカミオカンデによって史上初めて自然に発生したニュートリノの観測に成功したことにより、2002年(平成14年)にノーベル物理学賞を受賞しました。カミオカンデに使用された光電子増倍管は、古河市のガラス工場で作られたものです。	1
7	日光街道は、江戸時代に徳川幕府の政策として整備された五街道のひとつで、1636年(寛永3年)、江戸と日光国間に開通しました。古河宿は、日本橋から数えて9番目の宿場町です。	2
8	「古河提灯竿もみまつり」は、市内各団体が20メートル近い竹竿の先につけた提灯を激しく揉み合いながら、相手の提灯の火を消し合う祭りで「関東の奇祭」と言われています。この祭りは、江戸時代古河藩領(現・栃木県野木町)であった野木神社の神官が、ご神体の神籬を奉じて馬に乗り、神社の神領である七ヶ村の末社をめぐり「七郷めぐり」を終え、12月3日末明に帰社するのを、提灯を持って出迎えた人達が、寒さをしのぐために身体を揉み合ったのが始まりで、その名も「お帰り」と言われました。	2
9	篆刻(てんこく)は書道芸術のひとつで、700年ほど前に中国でおこりました。「刻印」は、四書・五経や漢詩などから語句を選び篆書体という古文字を用いて柔らかい石などに刻んだものです。また、本建物は国の登録有形文化財です。	3
10	山内 一豊(やまうち かつとよ)は、戦国時代から江戸時代前期にかけての武将、大名であり、土佐山内氏の当主でした。	1
11	雪華図説は、1842年(天保42年)、古河藩の4代藩主「土井利位」が、オランダから輸入された顕微鏡を使って雪の結晶を観察して出版しました。86種類もの雪の結晶を図した雪華図説は、日本初の雪の自然科学書として、高い評価を受けています。	4
12	コガッツは「小さなガッツででっかい感動」をキャッチコピーに、2010年(平成22年)に20台を導入し、無料で貸し出しを行っています。2015年(平成27年)からは、栃木県野木町のレンタル自転車との相互乗り入れが可能になりました。	2
13	登呂遺跡は静岡県、吉野ヶ里遺跡は佐賀県、上ノ原遺跡は長野県の遺跡。川戸台遺跡は、発掘調査の結果、9世紀頃に、鉄づくりから加工・製品化までを行っており、相当大きな製鉄・鑄造遺跡であることが明らかになりました。	3
14	2005年(平成17年)9月12日に合併し、今年で13年を迎えます。	2
15	古河の夏の風物詩といえば、古河花火大会です。古河ゴルフリンクスで開催される光の祭典は、毎年多くの観客で賑わいます。古河花火大会の最大の目玉は東京スカイツリーと同等の高さまで打ちあがり、壮大なスケールで花開く三尺玉です。開花高度約600メートル・開花直径約650メートルと超特大の花火です。	1
16	渡良瀬遊水地は、栃木・群馬・埼玉・茨城の4県の県境にまたがる面積33平方キロメートル(東京ドームの約700倍)の日本最大の遊水地です。	4
17	浅野氏は、総和高校を卒業後、代々木アニメーション学院東京校に進学、同校卒業。2013年(平成25年)、2014年(平成26年)には、古河市の街角美術館で原画展を開催。全国各地、海外からもファンが来場しました。「進撃の巨人」は、2013年(平成25年)にテレビアニメ化され、4月から9月にかけて放映されました。	4
18	日野自動車古河工場は、大型・中型トラックの完成品を製造する、国内唯一の工場です。古河で生産された自動車が、全国各地、世界各国へと出荷されています。	2
19	奥原 晴湖(おくはら せいこ)は、1837年(天保8年)古河藩大番頭の子として生まれました。幕末から明治期の画家で、野口小蘗とともに明治の女流南画家の双璧といわれ、また安田老山と関東南画壇の人気を二分しました。	3
20	ネーブル(navel)とは、英語で「へそ」の意。古河市が関東平野の中心に位置することから、からだの中心である「へそ」の意を公園名に取り入れました。	1
21	綾部氏は、総和地区出身で、茨城県立境西高校を卒業しました。2003年(平成15年)10月に、お笑いコンビ「ピース」を結成し、活躍しています。	4
22	「古河」は、古く「許我」と表記され、『万葉集』に登場します。「まくらがの こがのわたりの からかぢの おとたかしもな ねなへこゆゑに」「あはずして ゆかばおしけむ まくらがの こがこぐふねに きみもあはぬかも」の二首が詠まれています。	2
23	カブトムRX-03は、市内の創作機械の工場を経営する高橋さんが12年の歳月をかけ、趣味として1人で完成させたロボットです。全長11メートル、全高3.6メートル、重量17トンと昆虫界の王様であるカブトムシながらの巨大仕様。2基のディーゼルエンジンを原動力とし、巧みに6本の足を動かしながら歩行(時速4キロメートル)します。操縦手段は、後部にあるコックピットからと、外部のリモコンからの2通り。展望指令室や乗員室なども備え、最大7人まで搭乗できます。	3
24	ぐるりん号は、主に古河地区を運行するコミュニティバスです。東・西・南の3コースを3台の車両で毎日(年中無休)運行しています。	4
25	ゆきとのくんは日本で初めて雪の結晶を観察し、雪の殿様として知られる土井利位をモチーフに誕生した古河市商工会議所の公認キャラクター。	3